

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公表番号】特表2009-542451(P2009-542451A)

【公表日】平成21年12月3日 (2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-518606(P2009-518606)

【国際特許分類】

B 2 4 B 37/00 (2006.01)

B 2 4 B 37/04 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 37/00 C

B 2 4 B 37/04 K

H 0 1 L 21/304 6 2 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

貫通アパーチャーを有し且つ研磨面を有する不透明な研磨層と、
上記アパーチャーにおける個体の光透過窓と、
を備え、上記個体の光透過窓は、
上記研磨層に固定された外側部分であって、上記研磨面に対してくぼんだ上面を有する外側部分、及び
上記外側部分に固定された内側部分であって、上記研磨面と実質的に同一平面である上面を有する内側部分、
を含むものである、研磨パッド。

【請求項 2】

上記外側部分が上記内側部分を取り巻く、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 3】

上記内側部分及び上記研磨層は、実質的に同じ硬度を有する、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 4】

上記外側部分は、上記内側部分よりも硬い、請求項 3 に記載の研磨パッド。

【請求項 5】

上記外側部分は、上記研磨層と実質的に同じ硬度を有する、請求項 3 に記載の研磨パッド。

【請求項 6】

上記外側部分の上面より上に突出する上記内側部分の角が平滑化される、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 7】

上記外側部分の上面より上に突出する上記研磨層の内縁の角が平滑化される、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 8】

上記内側部分は、上記外側部分に成形される、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 9】

上記研磨層、上記第 1 部分及び上記第 2 部分の底面は、実質的に同一平面上にある、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 10】

上記研磨層は、微孔性フェールト基板上に配設されたボロメリック被覆を含む、請求項 1 に記載の研磨パッド。

【請求項 11】

研磨パッドを製造する方法において、

不透明な研磨層のアパーチャーに、該研磨層の研磨面に対してくぼんだ上面を有する第 1 の光透過層を形成するステップと、

上記第 1 の光透過層のアパーチャーに、上記研磨面と実質的に同一平面である上面を有する第 2 の光透過層を形成するステップと、
を備えた方法。

【請求項 12】

第 1 の光透過層のアパーチャーに第 2 の光透過層を形成する上記ステップは、上記第 1 の光透過層に穴をカットする段階を含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

第 1 の光透過層のアパーチャーに第 2 の光透過層を形成する上記ステップは、上記第 1 の光透過層の穴を液体先駆体で埋めて、上記研磨面より上に突出するメニスカスを生成する段階と、上記先駆体を硬化させる段階とを含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

上記第 2 部分の上面が上記研磨面と実質的に同一平面となるまで上記本体を磨く段階を更に含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

上記第 1 部分の上面より上に突出する上記第 2 部分の角を平滑化するステップを更に備えた、請求項 11 に記載の方法。